

Kitakyushu Foreign Trade Association

GLOBAL VIEW

2017 AUTUMN No. 42

北九州貿易情報「グローバル・ビュー」2017年・秋号

- 言志私録 ● 「子どもに夢と感動を!街に誇りと活力を!」株式会社ギラヴァンツ北九州 代表取締役社長 原 憲一 …… 1
- 巻頭企画 ● 現地発「大連・上海の最新事情」 …… 2
- 会員情報 ● 会員紹介(㈱サンライズフラットヒル / アルファベット(株) / ㈱P・Dグローバル) …… 4
- 事業紹介 ● 2017韓国人材活用セミナーin北九州 / 2017香港フードエキスポに出展 …… 6
- ジェトロ ● 世界トップレベルの日本の健康長寿産業を世界へ / 越境EC / 輸出協力企業交流会 …… 7
- ニュース ● アジア経済情報 …… 8
- 貿易実務 ● 貿易質問箱 …… 9



KFTA
Kitakyushu Foreign Trade Association

公益社団法人北九州貿易協会



株式会社ギラヴァンツ北九州
代表取締役社長
原 憲一

「子どもに夢と感動を！ 街に誇りと活力を！」

8月26日、ミクニワールドスタジアム北九州(通称「ミクスタ」)は3月12日の開幕戦以来の大観衆で埋まった。「ギラヴァンツ・サマーフェスティバル〜8.26ミクスタ満員大作戦〜」と銘打った「ギラヴァンツ北九州」対「FC琉球」の試合に、今季2番目の13,880人のお客様にご来場いただくことが出来た。

試合は、オリジナルユニフォーム(来場者にもれなく配布)を着用した大観衆の声援を受けたギラヴァンツが2対0の勝利を取めた。試合終了後バックスタンド後方の海上から打ち上げられた夏の夜空に開く600発の花火の大輪に、ご来場の皆様にはゲーム中の高揚感とこちよい勝利の余韻に浸りながら多少なりとも満足感を味わっていただけではないかと思う。

北九州市によるスタジアムの「オープニングセレモニー」が試合前に開催された開幕戦では、試合も含めた「招待入場(無料)」だったこともあり、今季最多の14,935名の来場者を集める盛り上がりを見せたが、今回の「ミクスタ満員大作戦」はプロスポーツの興行としては当然のことながら、クラブとして「有料入場者でミクスタを満員にする」初の挑戦であった。結果的には、試合前日にはすべての席種でチケットが完売し、試合も勝利するという最高の結果に繋げることが出来た。細部については検討すべき課題も多いが、クラブとしては今後につながる第一歩を踏み出したと思っている。

ミクスタの、「街なか」「駅ちか」というアクセスの良さと、観客席とピッチがとても近く、大変コンパクトで見やすい観戦環境はご来場の皆様に大変好評をいただいている。とりわけ、3階席に設けられたVIP席をはじめ、スカイボックス席、ビジネスシートは、テラス席でのサッカー観戦と併せて、飲食や歓談も楽しめる「サロン」としてご利用いただけるお席となっている。

ミクスタでのホームゲーム開催＝「興行」の本格展開はまだ緒に就いたばかりである。今回の「ミクスタ満員大作戦」を今後につなげていくために、しっかりとした分析を行い、サービスを始め様々な点で改善を図って更なる集客につなげていかなければならない。と同時に、来場者に喜んでいただける趣向を凝らすことも大切であるが、やはり最も大切なことは「チームの勝利」を届けることである。今回の「ミクスタ満員大作戦」を通じて当然のことながら改めて再認識した次第である。

原 憲一



「佐藤一斎 像」
渡辺崋山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉元総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのバイブル的存在。

(参考:ウィキペディア)

▶ギラヴァンツ北九州の今季ホームゲームの試合日程を5頁に記載しています。

現地発「大連・上海の最新事情」

今回は、中国の大連・上海の最新事情です。当協会の大連・上海両事務所の副所長及び当協会職員から、現地で見て直接感じたことなどを報告します。

中国・普及する「モバイル決済」に関する考察

■はじめに

みなさんこんにちは!昨年10月に駐大連経済事務所へ赴任(株式会社福岡銀行から出向)しました内藤と申します。初めての中国生活で、言葉や風習に戸惑いながらも、新鮮で刺激的な日々を過ごしております。今回は「中国のモバイル決済の状況」について皆様にお伝えしたいと思います。



駐大連北九州市経済事務所副所長 内藤 崇徳

■中国・「モバイル決済」の現状

私が中国駐在で驚いたこと、それは多くの中国人がスマートフォンを使った「モバイル決済」を利用していることです。コンビニやスーパーのレジでの支払は、現金ではなくスマホを店員に見せるだけ、店員はスマホの画面をピッと読み取り、これで支払い完了。もちろん、現金で支払う人もいますが、概ね8割程が「モバイル決済」と言ったところでしょうか。

実際に使い始めるとこれは便利!コンビニやスーパー、飲食店、路上に店を構える小さな露店でも利用可能——。個人間でも振込や飲み会の割り勘精算といった場面で利用されています。



モバイル決済を推奨する店内ディスプレイ

聞いた話では、物乞いの方まで「モバイル決済」でお金をねだっているとか…。中国では財布なしでも生活に困らない。これは決して大きな表現ではありません。

日本銀行のレポート「モバイル決済の現状と課題」では、モバイル決済の利用率について日本は6.0%、それに対して中国は98.3%という数値が記載されています。いかに、中国で「モバイル決済」が普及しているかが分かります。

■普及の背景

なぜ、ここまで中国で「モバイル決済」が普及したのか?生活者の目線で2つ+α理由を考えてみました。

1つ目は現金の使い勝手が悪いことです。具体的には下記が挙げられます。

- ATMの設置台数が日本と比べて少なく、入出金が面倒。
 - 偽札が一定数流通していること。コンビニや飲食店には紙幣鑑定機が設置されており、50円以上の紙幣はチェックを受けます。
 - その他、高額紙幣がない(最高額は100元、日本円換算で1,650円程度)、汚れ破れがひどく、やや不衛生等々。
- 2つ目は支払者(個人、買い物客)、受取者(店側)双方にとって

導入が容易であることです。

個人の利用方法はいたって簡単。スマートフォンでアプリをダウンロード、必要事項(電話番号、銀行口座情報、身分証番号(日本のマイナンバーに相当)等を登録すれば、すぐに利用可能となります。カメラと液晶があればほぼどの機種にも対応可能、機種変更時はアプリを再ダウンロードするだけ。複雑な設定や操作は必要ありません。

店側の受取方法は①買い物客が画面に表示したコードを店側が専用端末で読み取り支払う(主にチェーン店、大型店で利用)、もしくは②店側のコード(スマホの画面、または紙に印刷したものを準備)を買い物客がスマートフォンで読み取って支払い、決済完了画面を店員に提示する(主に露店や小規模な店で利用)の2種類あります。後者であれば、日本の交通系ICカードや電子マネーEdyのように専用端末を準備する必要がありません。また、決済手数料はほぼ無料、高額決済時に少しかかる程度と金銭的負担も少ないのが特徴です。



レシートと通知メッセージ。店によっては割引されることも

その他+αの理由として、スマートフォン普及率が高いこと(ある調査では中国のスマートフォン普及率は58%、日本は39%)、中国の人口のうち20代後半から40代前半の占める割合が高いため新技術への抵抗感が少ないこと、「便利なものをどうして使わないの?」という中国人の合理的な国民性が考えられます。

■問題点そして今後

このような背景で普及している「モバイル決済」ですが、課題もあります。「アプリに紐付けした口座からお金が盗み取られていた。」といった不正利用被害の話や、個人の決裁履歴等の個人情報企業が流出しているのではないかと懸念も囁かれています。やはり、便利なものにはリスクがある、まだまだ発展途上といったところでしょうか。

そんな中国発の「モバイル決済」ですが、8月16日付の日本経済新聞にて「アリババ、スマホ決済上陸-中国発使いやすい強み」と一面で大きく取り上げられました。日本での普及にはこうした不正利用や個人情報の管理に関する不安をいかに取り除くかが鍵を握るのではないかと考えています。

■終わりに

駐大連事務所は中国東北部エリアをメインに活動しており、皆様のビジネスのお役に立てるよう現地最新情報発信に努めて参ります。中国に関するご質問・ご意見等ございましたらお気軽にご相談ください。

「中国・上海の最新事情と北九州市上海事務所について」

■はじめに

昨年10月より株式会社北九州銀行から出向し、駐上海北九州市経済事務所にて勤務しております植田と申します。2012年の半ばから2013年にかけて大連での勤務経験があり、2度目の中国勤務ですが、大連と上海とはまた違った経済・文化があり、日々新鮮に感じて生活しております。



駐上海北九州市経済事務所副所長 植田 紘章

■上海市の概要

北九州市から上海市までは約1,000km、これは北九州市から東京までとほぼ同じ距離です。福岡空港⇄上海浦東空港の発着便も毎日複数あり、物理的なアクセスは非常に恵まれています。また、人口については、直轄市の中では重慶市に次ぐ2番手ですが、都市人口の面で考えれば上海市が中国国内トップです。政治の中心は北京ですが、経済の中心は上海であり、「上海でビジネスが成功すれば、中国国内で成功できる」という話もあります。

■最近の中国・上海

日本経済新聞などでも取り上げられていますが、日本よりも中国のほうが先行している事柄に「モバイル決済」があります。日本でもクレジットカード等での決済はスマホ上で行われているとは思いますが、中国ではスマホ内のアプリと、自身の銀行口座が連動しており、バーコードを読み取ると即座に口座から代金が引き落とされるようになっています。この「モバイル決済」が普及していることにより、コンビニやスーパー、飲食店などでの支払いはスマホで行う人がほとんどです。さらにはそれらの技術を活用することで、レンタサイクルや出前などのサービスも進化します。レンタサイクルは街中のどこでも使用・返却ができ、出前は注文と同時に決済が完了し、どちらも細かいお金のやり取りなどが不要です。中国での生活は、とんでもない速さでどんどん便利になっています。大連駐在時(2012年頃)の生活と大違いです。

■駐上海北九州市経済事務所の活動

「北九州市は上海にも事務所があるの?!」「事務所があるのは大連だけだと思ってた…」そんな声にお応えするべく、弊所の活動についてご紹介できればと思います。

まず弊所の主な活動としては①インバウンド振興…中国人の方に北九州市へ訪れてもらう、②産業振興…中国人の方に北九州市の製品・産品を買っていただくという2つがあります。

ではそれぞれ具体的にどのようなことをしているかですが、①については現地旅行会社へ営業を行っています。北九州市の観光資源や助成制度を説明するとともに、ツアー内容に「北九州市滞在」が組み込まれ、地元経済が活性化するように尽力しています。中国では(海外旅行を含む)社員旅行が多くの会社で催行されているほか、優秀な代理店等に与えられる報奨旅行などの団体旅行があり、

弊所ではそちらの営業に注力しています。こちらの写真は、先日弊所から送客した不動産会社の社員旅行時の写真です。



上海市内の不動産会社の社員旅行

②については、現地の事業者と関係構築を図るとともに、市内事業者様の照会・ご依頼にお応えしております。私が上海に来たからの事例をあげますと、伝統工芸品の中国での販売、北九州市でのフォトウェディングの売り込み(こちらはインバウンド振興の要素もあります)、市内メーカー商品の地場バイヤーへの売り込みなどがあります。

■終わりに…

「中国の人がうちの店に来るけど、対応どうしたらいい?」「この商品中国で売りたいんだけど、どうしたらいい?」などなど…色々なお困りごと・相談ごとは弊所へお尋ねください。微力ではありますが、皆様の事業へのお力添えをさせていただければと思います。



九州・沖縄物産展で北九州市をPR(上海高島屋)



上海領事館で開催した伝統工芸品のPRイベント

株式会社サンライズフラットヒル

株式会社サンライズフラットヒルは2015年9月3日に登記し、2016年1月より本格的な事業活動しております。漠然と海外で商売できたらいいなと思っている方、せっかく素晴らしい商品やサービスを持っているのに何故売れないのと思っている方、そんな方をトータル的にサポート致します。何故、サポートできるか？ それは弊社代表者がサラリーマン時代に購買、広報、営業開発、営業推進(カタログ作成、展示会の立案、企画、運営)から管理(社長業務)を全て国内外で経験しているからです。

海外についてもシンガポール駐在(10年4ヶ月)時代の経験で特にシンガポール、タイ、マレーシアやベトナムなどに人脈を含めての強みを持っております。北九州貿易協会の皆様、海外に進出する際、良い商品やサービスを持っているだけでは何も進みません。少なくともその商品の良さを文書化する必要があります。そんな時、海外ビジネスをコーディネートする当社、「サンライズフラットヒル」を思い出し、お声をかけて下さい。“海外進出の第一歩は弊社への声掛けから” 宜しくお願いします。



弊社提携先 Innoco Oil Pte. Ltd の社長と営業課長の息子さんと

業 務 内 容

1. 企業の海外進出に関するサポート
2. 企業の営業サポート
3. 企業間コーディネート
4. 外国語翻訳(英語、ドイツ語、中国語、韓国語など)
5. 輸出入のサポート

〒809-0034 福岡県中間市中間三丁目22-7 TEL/FAX:093-245-0824
E-mail : y_hiraoka@s-flathill.co.jp Skype : yasuki-hiraoka

アルファベット株式会社

AからZまでの文字を組み合わせることによっていろんな表現が出来るように、アルファベット株式会社はお客様の課題やニーズに沿って、デザインを行い、様々な媒体(メディア)を駆使してツールを制作し、販促、集客等の課題解決を行う会社です。制作するツールは、主にホームページ、チラシ、ポスター、パンフレット、名刺等ですが、デザインコンセプト立案から制作まで一貫したトータルデザインプロデュースも行っています。また、販促、集客に対する企画、マーケティング支援も実施し、ビジネスソリューション全般まで業務を行なっています。

特に、ホームページ制作に関しては、より効果が期待できる動画を組み込んだページを制作していますが、動画に関してはホームページのみならず、You Tubeへの投稿などSNSを活用した販促も展開することが可能となり、より効果的な販促媒体として活用することができます。

販促、集客ツールの制作で強みとなっているのが、韓国人デザイナーにより、翻訳からデザイン制作までのノンストップ制作です。通常であれば、翻訳とデザイン製作者は別々で作業を行いますが、一貫したノンストップ制作を行うことによって、費用の抑制と、納期の短縮が可能となります。

また、韓国ネイティブのデザイナーがデザインするので、韓国人の好みにあったデザインとなり、制作した宣伝媒体の効果がより期待できます。


この度、北九州市の依頼により小倉の飲食店を紹介する韓国語クーポンブックの翻訳とデザインを担当、クーポンブック掲載各店舗の韓国語メニューを制作しました。また、小倉の名物料理「ぬか炊き」パンフレットの翻訳とデザイン制作など、行政からの発注が増加しています。

今後は韓国語のみならず、英語や中国語など、多言語対応を展開していきたいと考えます。



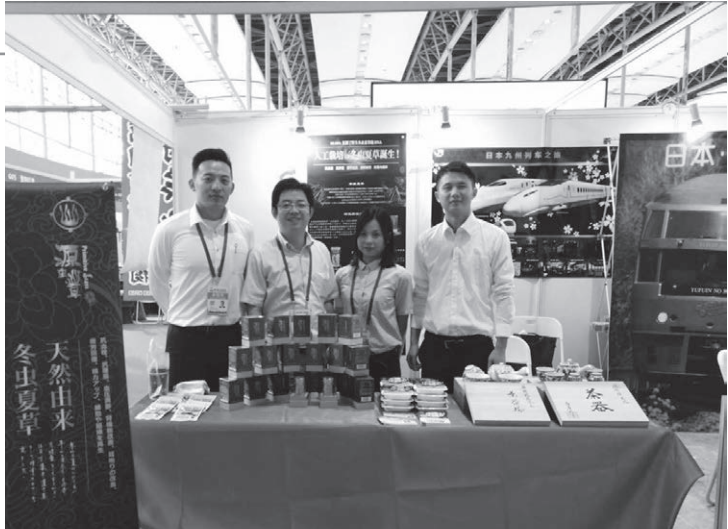
インバウンド対応は“アルファベット”にお任せ下さい!

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル8階 TEL:093-482-3522 FAX:093-482-3533

 <https://www.facebook.com/abet.jp/> HP: <http://alpha-bet.jp>

株式会社P・Dグローバル

当社は中国を中心に商品の貿易と海外進出の支援業務を行っております。現在は自社商品である国産の冬虫夏草サプリメント『源虫草』をインバウンド客向けの店舗で販売を行っており、中国をはじめとする中華圏への販路開拓に努めています。その他にも九州の優れた商品やサービスの海外への進出支援を行っております。現地での市場性や生活者のニーズを把握するための「テストマーケティング」を皮切りに、進出に関わる「現地視察のアテンド」、「現地側との交渉」、「現地での販路開拓」、「展示会・商談会の出展」、「商標登録取得」、「通関手続業務」等の業務も行っております。また中国へのプロモーション業務も実施しており、「Wechat」、「Youku」など中国で広く利用されているサービスや観光系のアプリなどを利用したプロモーションを実施することができます。皆様の海外進出のサポートを行うことで、優れた商品やサービスを海外に広めることができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



第25回広州市博覧会(2017年8月25~28日)の自社出展ブースにて

〒810-0041 福岡市中央区大名2-8-18 天神パークビル7階 TEL:092-735-1103 FAX:092-735-1093
<http://pdglobal.co.jp>



 **Giravanz**
KITAKYUSHU

2017 HOME GAME SCHEDULE

ホームスタジアム  ミクニワールドスタジアム北九州



©2008 KATALLER TOYAMA CO.,LTD.

VS カターレ富山
9月23日(土)
- 18:00 KICKOFF -



©2008 S.C.SAGAMI

VS SC相模原
10月1日(日)
- 14:00 KICKOFF -



©2014 KAGOSHIMA UNITED FC

VS 鹿児島ユナイテッドFC
10月15日(日)
- 14:00 KICKOFF -



©2009 F.C. NICHIKATSU

VS 栃木SC
11月5日(日)
- 14:00 KICKOFF -



©2013 AZUL CLARO

VS アスルクラロ沼津
11月26日(日)
- 14:00 KICKOFF -

観戦チケットなどのお問い合わせは

ギラヴァンツ北九州
TEL 093-863-6777

公式ホームページ

<http://www.giravanz.jp>

2017



グローバル人材獲得への機運高まる!

「2017韓国人材活用セミナーin北九州」開催



パネルディスカッションの光景

始まり、韓国人材採用のメリットを、実例を交えながら様々な角度から紹介しました。セミナー後半では実際に韓国人社員を雇用している企業によるパネルディスカッションがあり、「語学力、礼儀正しさ、日本との文化的・距離的な近さ」といった韓国人材の魅力について熱く議論が交わされました。

今後、市内企業の国際ビジネスにおいて、優秀な外国人材の一層の活躍が期待されます。

平成29年7月5日(水)、北九州市、駐福岡韓国総領事館、韓国貿易センター(KOTRA)は、「2017韓国人材活用セミナーin北九州」を開催しました。当日は、足元が悪い天候にも関わらず、定員を大幅に超える120名の方が参加されました。

金玉彩駐福岡韓国総領事・北橋健治北九州市長の挨拶より



発表に聞き入る120名の参加者

大学生が企業と一緒に世界へ挑戦!

2017香港フードエキスポに出展しました。

北九州市とジェットロ北九州は、8月17日～19日に香港で開催されたアジア最大級の食品展示会「香港フードエキスポ」に地元食品関連企業3社と地元大学生3名と出展しました。本事業の特長は、海外展開に関心のある企業と学生がチームを組んで、下準備から展示会ブースの運営、事後商談までのプロセスを一貫して行うところにあります。

展示会では、香港人の好みを研究し、新製品の出展をした企業もあり、多くのバイヤーの注目を受け、今後につながる有望商談を多数行うことができました。その中で、大学生も持ち前の英語力や積極性で、たくさんの訪問客に対応して商談へと結びつけていきました。

数年後、この事業を経験した大学生が、国際ビジネスの最前線で活躍している姿が期待されます。



バイヤーで賑わうジャパンパビリオン



大学生が売り込み・商品説明に挑戦



一致団結する北九州チーム!



新商品のテレビ取材を受ける北九州ブース

世界トップレベルの日本の健康長寿産業を世界へ

ジェトロが力を入れている最近の取組みの一つとして、世界に誇れる日本の健康長寿を海外に紹介し、各国が抱える健康課題の解決に貢献しようという取組があります。背景として、特にアジアで進む課題の一つである、高齢化があります。日本が65歳以上の人口が全人口の7%を超える「高齢化社会」から、21%を超える「超高齢社会」に達するまで40年を要したのに対し、中国、シンガポール、タイ、ベトナムは約30年で「超高齢社会」に至ると予想、日本より

も早いペースで高齢化が進展しつつあります。ジェトロでは2015年4月にヘルスケア産業課を発足させ、「バイオ医薬品関連」、「医療機器」、「健康長寿機器・サービス」の3分野の海外展開のサポートをさせていただいています。具体的には「海外情報の提供」、「海外展示会等でのビジネス支援」、「ビジネス環境の改善」に加え、ヘルスケア分野の専門家による個別支援にも力を入れております。

越境EC

ジェトロが窓口を担い、官民支援機関が一体となって海外事業展開を行う企業の支援『新輸出大国コンソーシアム事業』では各企業のニーズに合わせた支援を提供しています。その支援メニューには個別課題に対応する専門家による無料支援もあります。具体的には近年注目されている『越境EC(電子商取引)』などの分野に精通した専門家が支援を行っています。

ジェトロ北九州でも、『これから越境ECを始めたいが何をすればいいかわからない』、『以前に越境ECをやってみたが上手くいかなかった』などの悩みを抱えている企業に越境EC専門家を派遣し、具体的な事例や取組方法についてアドバイス・支援を行っております。

輸出協力企業交流会

ジェトロは2017年9月26日(火)に下関グランドホテルで輸出協力企業交流会を開催しました。本交流会は2015年度から開催している食品関連企業と日本国内の輸出商社との商談・交流の場を提供するものです。今回は北九州域内から7社出展し、輸出商社5社との商談を行いました。

ジェトロはこのように輸出商社との交流会や、海外バイヤーを招聘して商談会を開催するなど地元企業の海外販路開拓の場を提供しています。

上記で関心の向きはジェトロ北九州までお問合せ下さい。

アジア経済情報

～「北九州貿易協会ウィークリーニュース」より～

■北九州貿易協会ウィークリーニュースとは

「北九州貿易協会ウィークリーニュース」は、(株)エヌ・エヌ・エー (<http://www.nna.jp/>) の提供するアジアのビジネス情報、北九州市の海外事務所(大連・上海)からの現地情報、国内外の経済情報、各種展示会情報などを満載して、毎週月曜日に北九州貿易協会会員の皆様にメール配信しています。

インドネシア 2017.08.29 パティンバン港事業影響なし 担当高官の汚職事件で日本大使館

日本が参画するインドネシアの大型インフラ事業で、事業を担当する運輸省高官が先週、収賄の容疑で汚職撲滅委員会(KPK)に逮捕された。西ジャワ州スバン県のパティンバン港整備計画への円借款契約が間近に迫っている中で、キーマンの逮捕が事業に与える影響が心配されている。しかし在インドネシア日本大使館は、円借款契約の締結は問題ないと認識を示し、その他のインフラ事業計画にも影響はないと表明した。

地元紙コンタンなどによると、逮捕されたのは運輸省前海運局長のトニー容疑者。トニー容疑者は、地場建設業者アディ・グナ・クルクタマの理事アディプトラ容疑者＝贈賄容疑で逮捕済み＝から中ジャワ州スマランのタンジュンマス港のしゅんせつ工事をめぐり、200億ルピア(約1億6,400万円)を不正に受け取った収賄容疑で今月23日、KPKに逮捕された。KPKは既にトニー容疑者の自宅や事務所を捜索し、複数の通貨で保管されていた総額1,890億ルピア相当の現金を押収している。

ブディ運輸相は25日、トニー容疑者逮捕を受け、新しい海運局長にベイ前海上交通部長を指名し、ベイ氏は即日就任した。運輸省は、KPKの捜査に全面協力することを表明した。

◆早い締結に向け努力

トニー容疑者は、海運局長としてパティンバン港の整備事業を手掛け、陸運局長代行として、首都ジャカルタと東ジャワ州スラバヤを結ぶ既存鉄道の準高速化事業にも携わっていた。トニー容疑者の逮捕で、日本が関与するこれらインフラ案件に及ぼす影響が懸念されている。ただ、在インドネシア日本大使館は遅延なく進行するとの見方を示した。

在インドネシア日本大使館の関係者は28日、NNAに対し「基本的には政府対政府として動いているので、個人の逮捕で計画そのものが大きく影響することはない」と指摘した。パティンバン港向けの円借款契約については「なるべく早く締結できるように努力している」と説明。鉄道の準高速化についても、インドネシアの技術評価応用庁(BPPT)が事業化調査を年内にも終える見通しを示しており、「日本側としてもBPPTに積極的に協力していく」と語った。

28日付ジャカルタ・ポストによると、本清耕造公使もトニー容疑者の逮捕について「驚いた。ただパティンバン港の整備事業が遅延することはないと考える」と答えている。

またルフト調整相(海事担当)も「逮捕がパティンバン港などインフラ事業に影響することはない」との見解を示した。

ベトナム 2017.08.30 1～8月貿易赤字、21億ドル 電子部品などの輸入拡大続く

ベトナム統計総局(GSO)が29日に発表した1～8月の貿易額は、輸出が前年同期比17.9%増の1,335億300万米ドル(約14兆6,000億円)、輸入が同22.3%増の1,356億2,800万米ドルとなり、収支は21億2,500万米ドルの赤字だった。「機械・部品」「電子・電子部品」「電話・電話部品」といった品目の輸入拡大が続いていることなどが貿易収支に影響した。

輸出先は、米国が同9.7%増の272億米ドルで首位。以下、欧州連合(EU)が12.7%増の247億米ドル、中国が41.8%増の183億米ドル、東南アジア諸国連合(ASEAN)が26.6%増の141億米ドル、日本が16.1%増の109億米ドル、韓国が24.0%増の90億米ドルが続いた。

輸入元は中国が14.7%増の364億米ドルで最大。以下、韓国が47.5%増の302億米ドル、ASEANが17.8%増の181億米ドル、日本が8.9%増の105億米ドル、EUが12.5%増の70億米ドル、米国が17.5%増の62億米ドルとなった。

◆8月単月では4億ドルの黒字

8月単月の推定値は、輸出額が前年同月比13.1%増の182億米ドルだった。輸入額は同14.7%増の178億米ドルで、貿易収支は4億米ドルの黒字となった。

8月の輸出額を項目別で見ると、「電話・電話部品」が前年同月比17.0%増の34億米ドルで最大。「繊維・縫製品」が同1.0%増の25億米ドルとほぼ横ばいだった。以下、「電子・電子部品」が21.0%増の21億米ドル、履物が18.2%増の13億米ドルが続いた。

輸入額は、「電子・電子部品」が11.7%増の29億米ドルで最大となった。以下、「機械・部品」が14.1%増の28億5,000万米ドル、「電話・電話部品」が41.6%増の13億米ドルなどとなった。上位品目の中で「自動車・自動車部品」のみ減少した。

輸出入における資本の内訳は、輸出では外資系企業が128億7,000万米ドル、地場企業が53億3,000万米ドル。輸入は外資が105億米ドル、地場が73億米ドルだった。

平成29年度 北九州市中小企業海外展開支援助成金 [第2次募集] 募集中 (予算がなくなり次第終了します)

北九州市内企業が海外展開に取り組みやすい環境を整えるため、海外での市場調査・見本市出展に対し、その経費の一部を助成します。

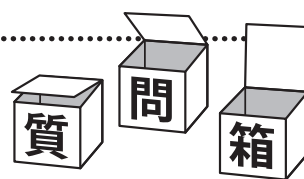
詳細は、KTIセンターホームページ <http://www.kti-center.jp/> で検索

助成対象

- ① 中小企業基本法上の中小企業者であること
(大企業からの出資金が50%を超える企業を除く)
- ② 市内に事務所又は事業所を有すること
- ③ 市税を滞納していないこと
- ④ 事前相談に参加すること

お問い合わせ先 北九州市国際ビジネス政策課 TEL:093-551-3605(担当/平手・中村)

輸入時と同一状態で再輸出される 場合の戻し税等(関税定率法第19条の3)



Q

海外から指輪やネックレス等を販売目的で輸入し、一定期間展示・販売した後、売れ残った商品については、輸出者に返品するか海外の業者に転売する予定にしています。

この場合、再輸出時に輸入の際に納付した関税及び消費税の払戻しを受けることができるのでしょうか。また、払戻しを受けるためには、どのような手続が必要なのでしょうか。

A

関税を納付して輸入した貨物で、その輸入の時の性質及び形状が変わっていないものを、その輸入許可の日から原則として1年以内に再輸出する場合には、関税定率法第19条の3の規定により、輸入時に納付した関税の払戻しを受けることができます。ただし、再輸出時に関税の払戻しを受けるためには、輸入の際に払戻しを受けようとする旨を税関長に届け出る必要があります。

なお、戻し税の額は、輸出した貨物について納付した関税全額です。(※消費税等についても、同様に還付を受けることができます。)

《参考》

「その輸入の時の性質及び形状が変わっていないもの」とは、輸入の際の品質、規格、形状等がその輸出の際において同一のものであると認められ、かつ、国内で使用(試験的使用等の軽微なものは含まない。)されていないものをいいます。(※輸入した貨物の部分品を本体から分離して輸出する場合、部分品として輸入した貨物を組み立てて輸出する場合、輸入後の腐敗等により変質、損傷した貨物を輸出する場合その他貨物の価値に変化があると認められる場合は、同一性を有するものとは認められません。

① 輸入時の手続

関税の払戻しを受けようとする貨物を輸入する際には、通常の輸入手続に加え、「再輸出貨物確認申請書」(税関様式T第1625号)2通を提出のうえ、税関の確認を受ける必要があります。

なお、貴石等のようにその外形上その特徴を識別することが困難な貨物又は衣類等のように記号、番号等が個別に付されていない貨物の場合には、当該貨物の品質等についての鑑定書、分析書、包装明細書その他の書面等を添付して提出する必要があります。

② 輸出時の手続

関税の払戻しを受けようとする際には、通常の輸出手続に加え、次の書類を提出する必要があります。

- ・「輸入時と同一状態で再輸出される貨物の関税払戻し(減額)申請書」(税関様式T第1627号)2通
- ・「再輸出貨物確認申請書」(税関様式T第1625号)※輸入の際に税関の確認を受けたもの
- ・輸入の許可書又はこれに代わる税関の証明書

○カスタムアンサー(参考)

1606 輸入時と同一状態で再輸出される場合の戻し税の手続

「大阪税関 税関相談官室 貿易と関税 2017年4月号」より転載